



令和4年度 ひたちなか市立佐野中学校 グランドデザイン



<本県教育の目標>
ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

<本校の校訓>
豊かな人間性 たくましい自立 磨かれた知性

<本市学校教育振興のためのスローガン>
夢・感動・笑顔がひろがる
教育のまち ひたちなか
☆ 夢があるから 人生が輝く
☆ 感動があるから 心が磨ける
☆ 笑顔があるから 前へ進める

<学校教育目標> 豊かな心を持ち、
たくましく、学び続ける生徒の育成

【目指す生徒像】 **よい友達**
持続可能な社会の形成者
1 自ら学び、考え、正しく判断できる生徒
2 自分を信じ、最後まで努力を重ねる生徒
3 互いのよさや個性を認め合える生徒
4 生きる上での基礎基本となる生活習慣が身に付いた生徒

【目指す教師像】 **よい先生**
生徒を「迎え」「見守り」「見送る」
1 熱意・誠意・創意溢れる教師
2 健康で明るく積極的で公平な教師
3 感性が豊かで人権意識が高い教師
4 品位と指導力があり学び続ける教師

【目指す学校像】 **きれい・安全**
SDGsの視点に立った教育課程の編成
1 人を大切にする温かい学校
2 秩序があり安全安心な学校
3 活力がある学校
4 組織で対応できる学校

<基本理念> 学校はよい友達がいて よい先生がいて きれいで 安全で 楽しいところ
◎ 集衆思宣群力 (一人一人の力を持ち寄り、集団としての力を高める)
◎ 人を大切にする (生徒一人一人、保護者一人一人、教職員一人一人を大切に)

生徒の実態
・学習に向き合う姿勢が良い
・向上心がある
・課題に真面目に集中して取り組む
・優しく素直で明るい
・誠実に責任をもって取り組む
・協力して活動に取り組む

<経営の重点>
① 生徒の可能性を引き出す学びの充実
② 生徒目線での教育活動の実施検証改善
③ 生徒の自発的・自治的活動の充実
④ 地域とともにある学校づくりの推進

育成したい力
・変化する社会を生き抜く力
・生きていく基礎となる生活習慣
・他者と協働するためのコミュニケーション力
・自分で考え、判断し、行動する力
・目標に向かって努力する力
・多様性を認め、他者を思いやる心

生徒目線での教育活動の実施・検証・改善 「魅力ある学校づくり」の推進
◎ すべての生徒にとって居場所があり、「学校に行くのが楽しい」と思えるような学校づくり
生徒たちの活躍する場や自信を付けさせる活動がしっかり実現されているのか「生徒の目線」で、常に振り返る
「みんなで何かをするのは楽しい」と生徒が実感できるように、授業や生徒会活動、学校行事などの工夫・改善に努める

<組織目標> 他者と対話・協働しながら、生徒が自ら考え、自己決定できる場を多くする

知 教師が「教える」授業から、
生徒が「学ぶ」授業への転換
① 何を学ぶか、何を学んだかが分かる授業
・本時の目標と学習課題、まとめの一貫性を図る
・考える、話し合う視点を明確にした授業
・他者と対話、協働しながら学ぶ場の設定
・多様な考え方に触れ、納得解を見出す
② 問題解決型、探究型の授業
・生徒が「問い」をもって学習する
・体験を通して学ぶ(オンラインの活用)
③ 場面に応じたICT機器の日常的活用
・1人1台端末は考えるための道具
・デジタル教科書、電子黒板の活用

徳 道徳的な判断力、心情、
実践意欲、態度の育成
① 「特別の教科 道徳」の授業の充実
重点価値項目「希望と勇氣」「相互理解・寛容」「よりよい学校生活、集団生活の充実」
② 学級活動、生徒会活動での生徒の自発的、自治的活動の充実
③ 笑顔プロジェクトの推進
・いじめに向かわないための活動の充実
④ 自己指導能力の育成
・自分自身の行動についてみつめ、考えることのできる学習
⑤ 全教育活動を通じた人権意識の高揚

体 根気強く努力し、強い
意志で自らを鍛える
① 自己管理能力の育成
・危険予測、回避能力の向上
・食に関する指導の充実
② 基礎体力の向上
③ 個、集団の目標達成による成就感や自己有用感の感得
④ 部活動運営力の育成
・好ましい人間関係の構築
・粘り強く取り組む態度の育成
・合理的、効率的な活動の推進
⑤ 系統的なキャリア教育の推進

<自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実>
・個の教育的ニーズに応じた合理的配慮提供
・適切な自立活動の目標設定、指導法の工夫
・個別の教育支援計画と指導計画の活用による関係者・関係機関との連携強化
・一人一人の願いを実現するための進路指導

<地域とともにある学校づくり>
・目標・教育ビジョンを共有した協働活動
・家庭、地域社会と信頼・協働関係の構築
・当事者意識と役割分担による社会総掛かりの教育の実現
・課題解決の協議と未来志向の協議の実施

<保幼小中連携の推進>
・近隣の幼児教育施設や佐野小学校、高野小学校との交流
・引き継ぎ事項の共有による12年間を見通した教育活動の実施
・非認知的能力の系統的な育成

<信頼される教職員>
・誠実な初期対応と組織的対応の徹底
・確実な報告・連絡・相談・記録・確認
・関係機関との情報・行動連携の強化
・危機管理意識の高揚
・生徒の安全・安心を守る事例検討
・様々な自然災害の想定と具体的対応
・人権意識・人権感覚の育成(傾聴・誠実)
・服務規律の遵守(非違行為の根絶)
・ボトムアップ型研修
・風通しの良い職場づくり

<教職員の育成>
・一人一人のキャリアステージに応じた目標設定・目標達成に向けた取組を通しての資質・能力の向上
・ICT活用指導力の向上
・OJT研修の充実
・初任者、2年次教諭、3年次教諭、中堅教諭、ベテラン教諭
・校内研修の計画的実施
・求める研修(学び続ける教職員集団)
・希望研修会への積極的参加

<働き方改革>
・働き方改革の目的の共通理解
◎効果的な教育活動の推進
一人一人の子供たちのために一人一人の教職員のために
・日課の工夫、部活動時間の工夫
・意識改革(前例主義からの脱却)
・ICTの活用による会議等の効率化
・校務支援システム、県教育情報NW共有フォルダ、メール配信システム
・カリキュラム・マネジメントの推進